

ムスリム対応マニュアル骨子（案）

1. イスラム教徒について

- ・背景
- ・世界の人口の1 / 4を占める
- ・東南アジア、中東分布している
- ・イスラム教の戒律、禁忌に関する事項 等

2. イスラム教の戒律で定められていること

(1) 食事

- ・豚肉を食べない、アルコールを摂取しない、その他摂取しないもの
- ・イスラムで認められた屠殺をしたものでなければ摂取しない
- ・調味料にも配慮が必要（みりんは不可、ショートニング、ゼラチンなど、豚由来成分は不可）等

(2) 礼拝

- ・毎日5回、メッカの方向にお祈りをする（キブラの説明）。決められた時間に行う。
- ・お祈りの前には水で手足を清めるため、洗い場が必要となる
- ・出来るだけ静かな場所が必要となる
- ・男女別々に礼拝を行う 等

(3) その他

- ・（その他、詳細な事項の説明）

3. ムスリム受入のための心得

- ・まずはムスリムの事を理解する
- ・受入側は、できる限りの対応をし、それを提供する
- ・提供できるサービスを正しく伝え、それをムスリムに選択してもらう
- ・ムスリムは「日本の旅行を楽しみたい」と思っている。過剰な対応は不要

4. ムスリムが旅行中に困ること

- ・ムスリムが安心して出来る飲食店が少ない（ハラールレストランの情報が乏しい）
- ・日本人のムスリムへの理解が乏しい
- ・豚由来成分が入っている食品、化粧品等の原材料表記がわかりにくい
- ・礼拝できる場所が少ない、手足を十分に洗える場所が少ない（洗面所で足を洗う事に抵抗がある、特に女性）、礼拝をする際に日本人の視線が気になる
- ・温泉には入りたいが、裸になることが出来ない
- ・フリーWi-Fi が使えるところが少ない（キブラ、礼拝時間もスマートフォンで調べられるため）

5. ムスリム対応事項（レベル分けを★の数で明示）

(1) 食事

- ① 豚肉を使わない
- ② アルコールを提供しない
- ③ 豚由来成分、アルコールが含まれる調味料等を原材料として使わない
- ④ 牛、鳥も、決められた屠殺をした肉を使う必要がある
- ⑤ 血液、死肉、魚介類でも陸上を歩くものも NG
- ⑥ 料理のメニューに原材料を表記する
- ⑦ ハラム食材とはキッチンを分ける
- ⑧ ハラル食材はハラム食材と分けて保管する
- ⑨ ハラム食材と調理器具を分ける
- ⑩ ハラム食材と食器を分ける（使い捨て食器を使う） 等

(2) 礼拝

- ① 礼拝室を用意する
- ② キブラ、礼拝マットを用意する
- ③ 簡易的な礼拝スペースを用意する。キブラがわかるコンパスを用意、清潔なスペース（絨毯、畳）、パーテーションなどで仕切られたスペース
- ④ 礼拝の時間を紹介する
<http://www.islamicfinder.org/cityPrayerNew.php?country=Japan>
- ⑤ 最寄りのモスクを把握し、案内出来るようにしておく
- ⑥ 手足を清める設備を用意する
- ⑦ スリッパ、タオル、ペーパータオルを用意する

(3) 接客

- ① 同性が接客をする
- ② 接触しない
- ③ ムスリムの従業員、調理師を雇う
- ④ コーランの取り扱いに注意する
- ⑤ 右手を優先する

(4) 温泉

- ① ムスリムの入浴時は水着着用可能とする
- ② ムスリムのために温泉の貸し切りをする
- ③ 家族風呂を活用する

(5) 買い物

- ① 豚由来成分を表示する（皮、コラーゲン、ゼラチン、ショートニング）等
- ② 洋菓子のショートニング、動物性油脂の材料表示をする

(6) その他

- ① 観光地の紹介に配慮する（寺社仏閣は敬遠される可能性もある）
- ② 好まれる観光コンテンツ 等

(7) その他

6. 簡単な会話集